

Windows8.1 から Windows11 に パソコンを入れ替える方へ

《TREND-CORE のデータ・設定の移行手順》

Windows8.1→Windows11 への移行の流れ

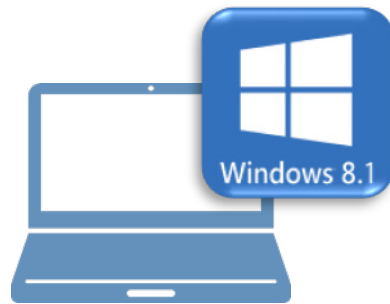


Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-CORE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



Windows8.1 での作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



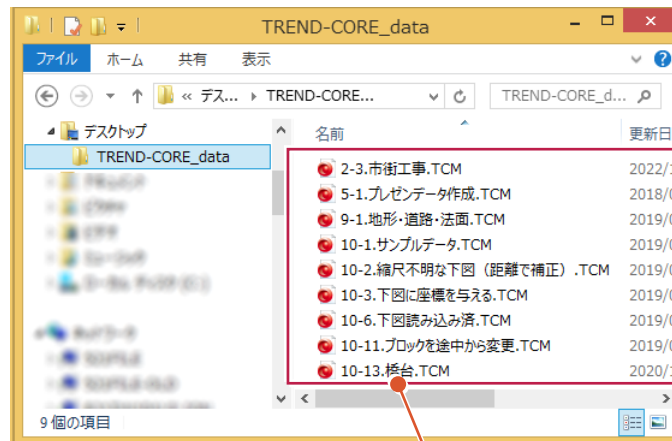
1 データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコン（Windows8.1）でTREND-COREの「データ」と「設定」をバックアップします。

1-1 TREND-COREのデータをバックアップする

TREND-COREのデータをバックアップします。
データのバックアップには、以下のような方法があります。

- エクスプローラーを利用し、TREND-COREのデータをUSBメモリや外付けHDDにコピーする。
- エクスプローラーを利用し、TREND-COREのデータをサーバーにコピーする。

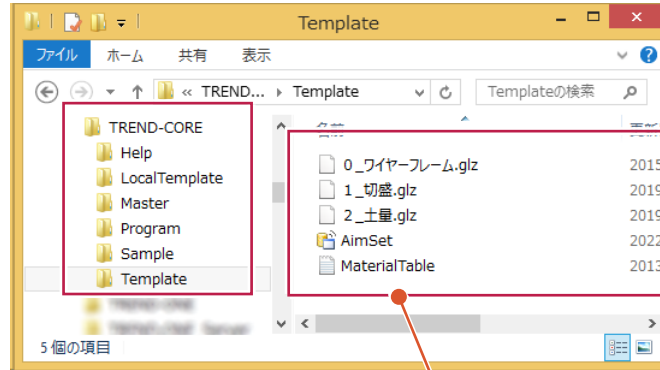


作成されたフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。

1-2 設定をバックアップする

テンプレート「C:¥FcApp¥TREND-CORE¥Template」内のファイルをバックアップします。
テンプレートデータのバックアップには、以下のような方法があります。

- エクスプローラーを利用し、TREND-COREのテンプレートをUSBメモリや外付けHDDにコピーする。
- エクスプローラーを利用し、TREND-COREのテンプレートをサーバーにコピーする。



作成されたフォルダーを外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。





2 ライセンスの解除

旧パソコン（Windows8.1）で使用している「ネット認証ライセンス（占有）」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコン（Windows11）でライセンスを認証することができません。

2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

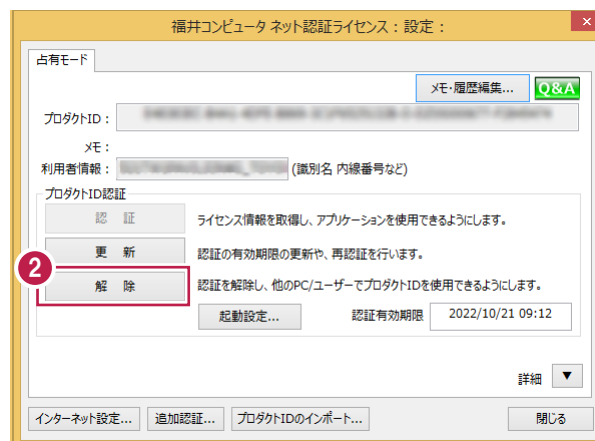
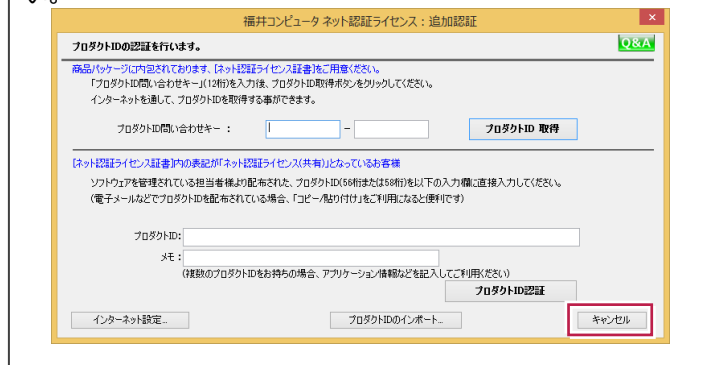
- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。



- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。

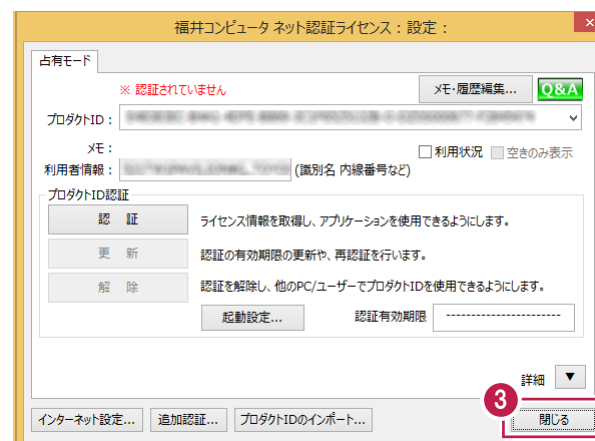
「認証設定」の画面が表示された場合は

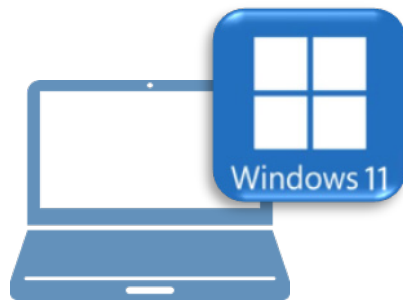
「認証設定」の画面が表示された場合は、すでに認証は解除されています。[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。



- 3 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ライセンスの解除」は完了です。





Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-CORE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



3

FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、EX-TREND武蔵の最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

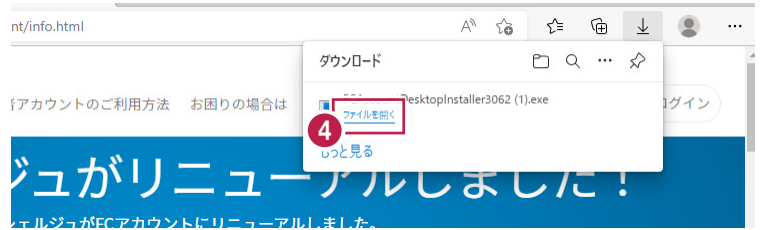
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



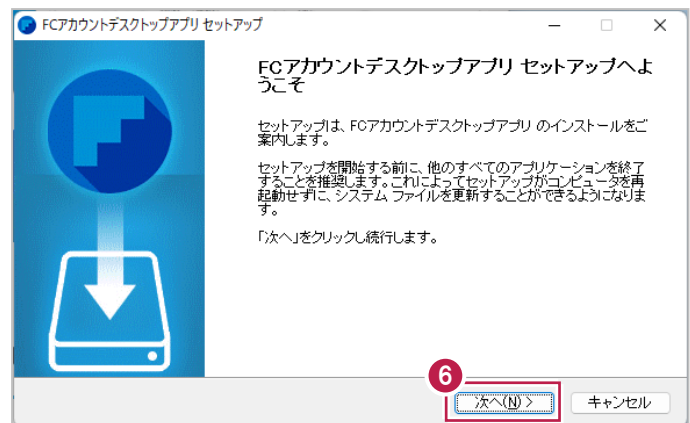
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

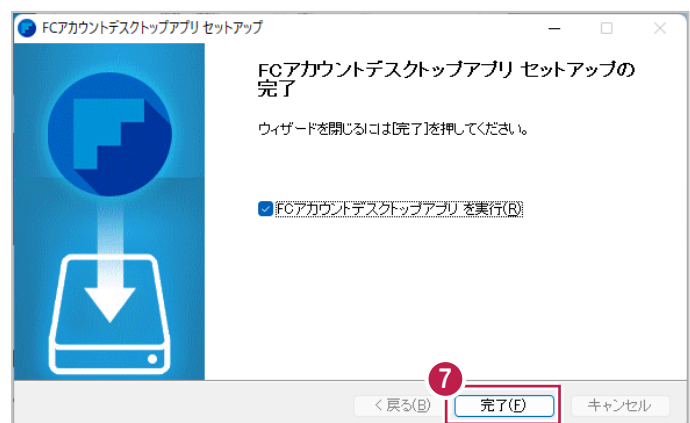


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス
中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご試用中のお客様をお試しください。
保守サービスをご契約中のお客様は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。
インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

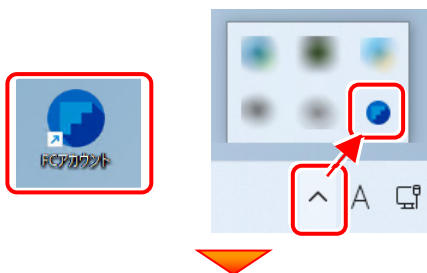


4

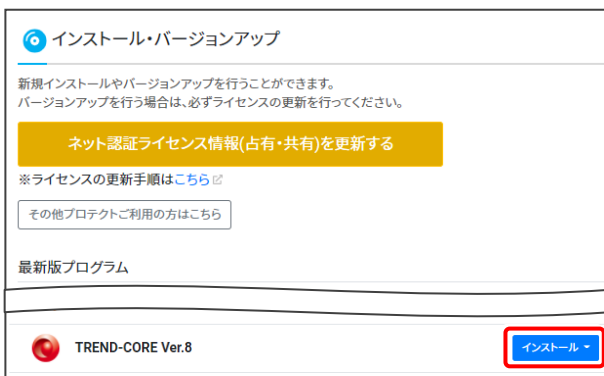
TREND-CORE のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-COREを新規インストールする手順を解説します。

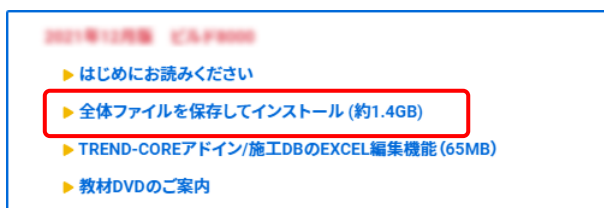
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



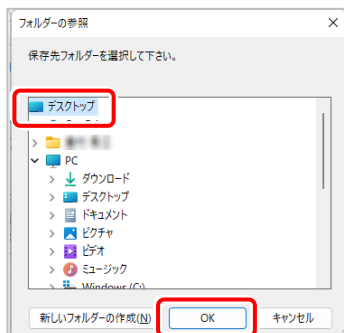
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-COREの「インストール」ボタンをクリックします。



メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先(デスクトップなど)を指定して、「OK」をクリックします。

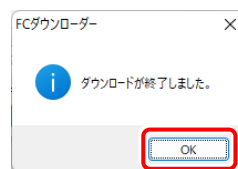


3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了したら、「OK」を押して閉じます。

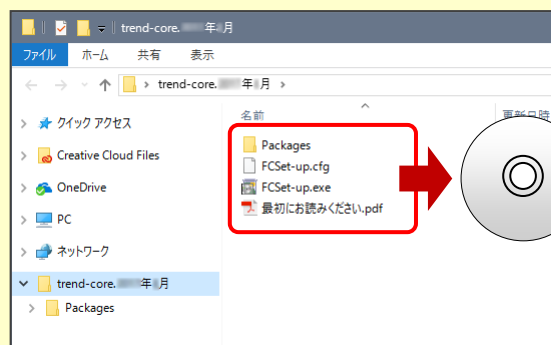


全体ファイルの保存は完了です。

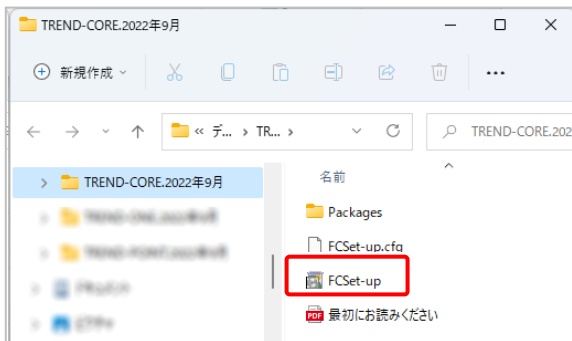
続いて次ページ「プログラムのインストール」に進みます。

他のコンピューターで、ダウンロードした全体ファイルを使用する場合は

保存した全体ファイルを、エクスプローラーなどでDVDやUSBメモリにコピーして使用してください。



5. ダウンロードした全体ファイル内にある "FCSet-up.exe" を実行します。



6. 表示される画面に従って、インストールを行います。



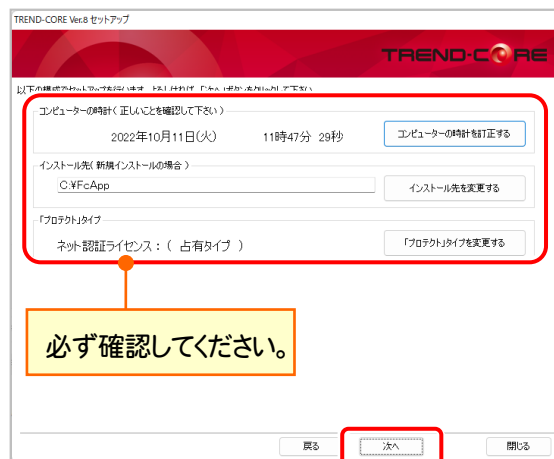
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)を確認します。

時計がずれていると、ライセンスの認証が正常に行えません。右側のボタンをクリックして、正しい時間を設定してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認後、[上記内容について了承します。]をチェックして[完了]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-CORE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について](#)」ボタンから表示される資料を参考にしてください。



5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

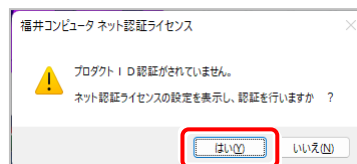
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

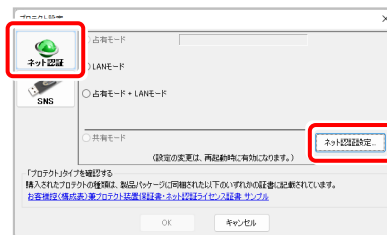
1. デスクトップの[TREND-CORE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

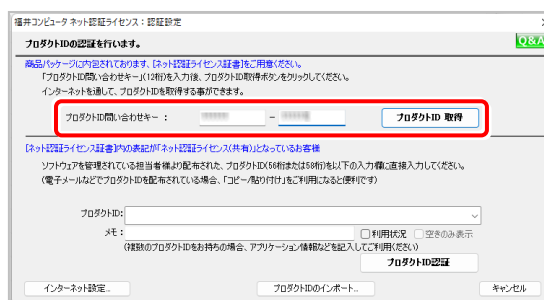


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

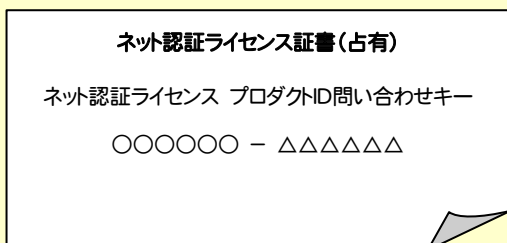


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

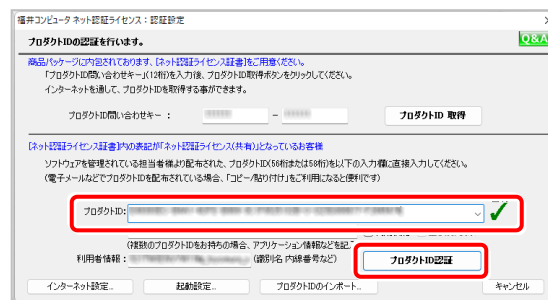
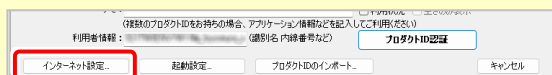
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と
 「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。

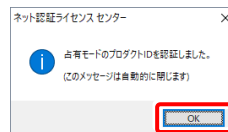
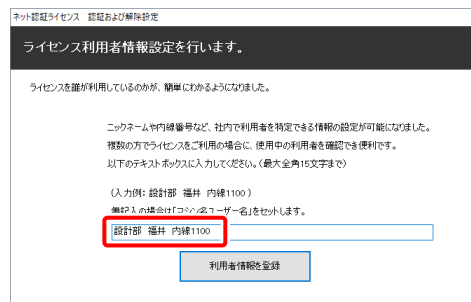


設定を終わったら、[OK] ボタンを押します。



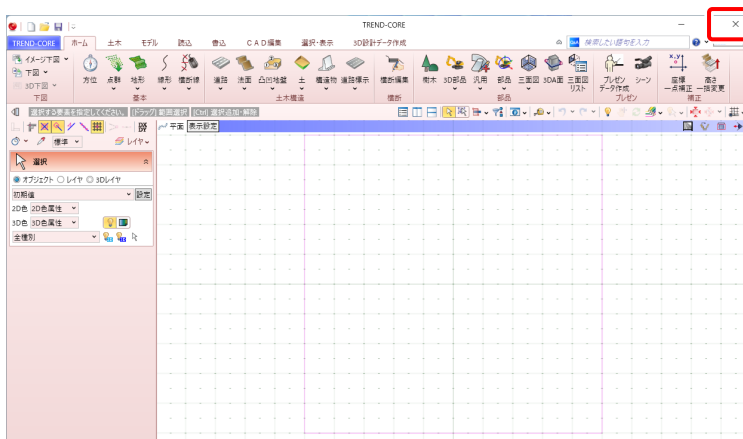
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。
 内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. プログラムが起動します。
 ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





6

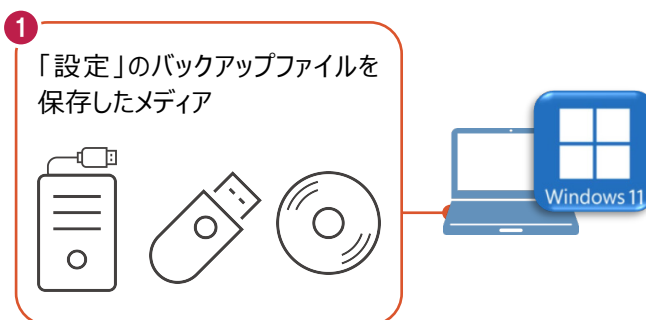
データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-pointの「データ」と「設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-POINTにリストア（復元）します。

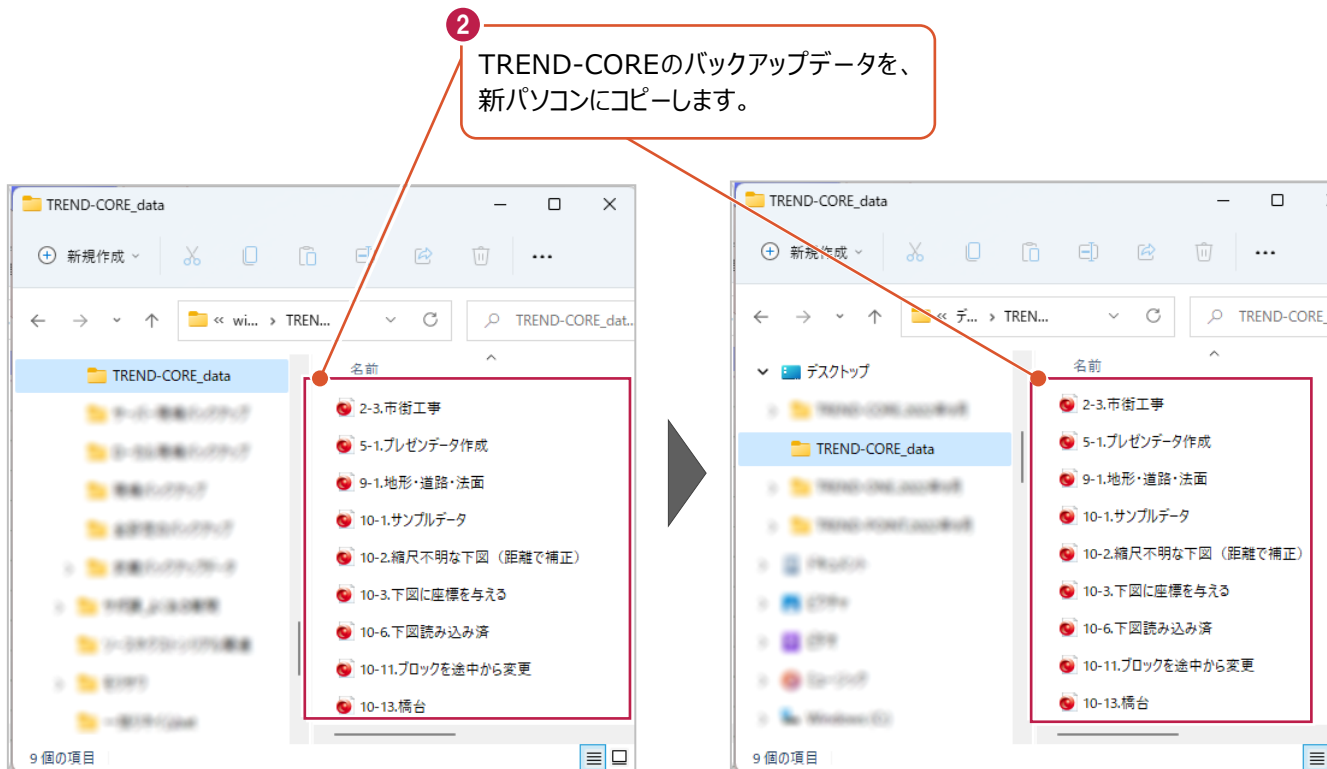
6-1 バックアップしたデータをリストア（復元）する

バックアップしたTREND-COREのデータをリストア（復元）します。

- 1 「データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。



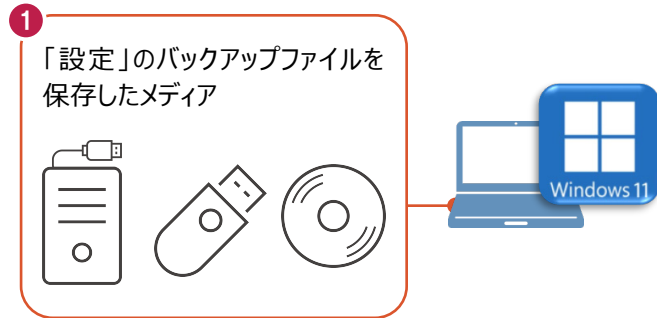
- 2 エクスプローラーを利用し、TREND-COREのバックアップデータを、新パソコンにコピーします。



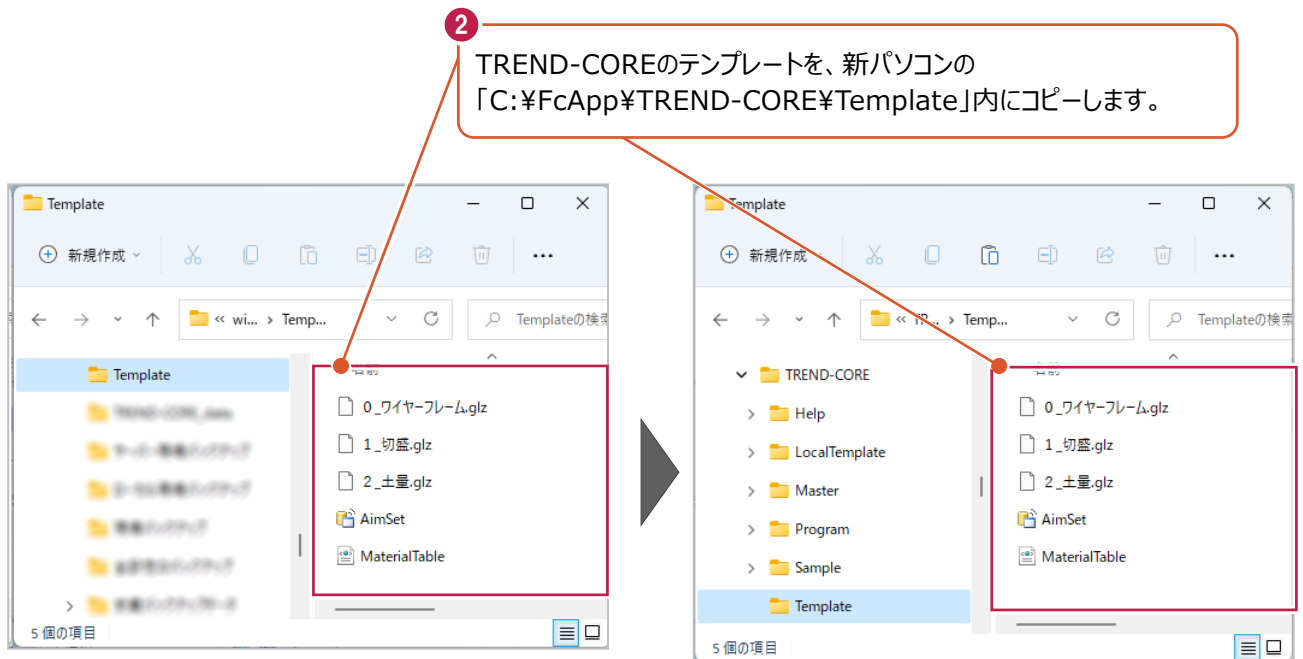
6-2 バックアップした設定をリストア（復元）する

バックアップしたテンプレートファイルをリストア（復元）する手順です。

- 1 テンプレートファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、新パソコンにセットします。



- 2 エクスプローラーを利用し、TREND-COREのテンプレートを、新パソコンの「C:¥FcApp¥TREND-CORE¥Template」内にコピーします。





7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。

The screenshot shows a support page with three main sections: 'インストール' (Install), '認証・起動' (Authentication/Startup), and 'その他お困りごと' (Other issues). Below these is a search bar and a list of categories. The category 'セキュリティソフトの除外設定について' is expanded, and the link 'セキュリティソフトの除外設定方法' is highlighted with a red box and a circled '3'.

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

The screenshot shows a 'セットアップサポート' (Setup Support) page. It features a sidebar with navigation options like '土木・測量', 'セキュリティソフト', and 'ネット認証ライセンス'. The main content area has a table titled 'セキュリティソフトメーカー' (Security Software Manufacturer) and 'ソフト別手順書' (Software-specific Manual). The first row of the table is highlighted with a red box and a circled '4'.

No.	セキュリティソフトメーカー	ソフト別手順書
4	トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレックスウイルスクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
2	ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
3	マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
4	ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
5	カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
6	リブセーフ	リブセーフ Ver.16

対応OS	Windows 11 バージョン21H2 (64bit) Windows 10 November 2021 Update バージョン21H1 (64bit) Windows 8.1(64bit)
CPU	推奨Core i7以上(最低Core i5以上):Intel社製 Celeronでは動作しません。
必要メモリ	推奨16GB以上(最低4GB以上)
必要HDD容量	推奨2GB以上(最低1.5GB以上) ※データの大きさにより異なります。
必要解像度	推奨1600×1200(最低1280×1024以上)
VIDEO	DirectX 11.0 対応グラフィックカード ※点群データを扱う場合は、専用GPUメモリを搭載したグラフィックスカード必須
VIDEOメモリ	推奨2GB以上(最低512MB以上) ※点群データを扱う場合は2GB以上のGPU専用メモリ必須(推奨8GB以上)
その他	Microsoft.NET Framework Ver 4.7.1 一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。

※ 上記動作環境は、2022年2月時点のものです。

※ Windows10のデスクトップ環境における「タブレットモード:ON」での動作は保証外です。

※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。

※ Windows11,10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。

※ 仮想マシン上での動作は保証外です。

※ CPUは、Intel社製 Coreに限ります。

※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。

※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。
ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。

※ ヘルプ機能を利用するためにはMicrosoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。